

六甲高山植物園 日本一の栽培株数 約3,000株のキレンゲショウマの群落が見頃です！

阪神電気鉄道株式会社(本社:大阪市 社長:秦雅夫)のグループ会社である六甲山観光株式会社(本社:神戸市 社長:宮西幸治)が運営する六甲高山植物園では、深山に咲く希少な「キレンゲショウマ」が見頃を迎えました。

キレンゲショウマは、宮尾登美子著の小説「天涯の花」でも紹介され、広く知られるようになりました。舞台となった四国の剣山などの限られた場所でしか見られない希少な花ですが、当園では、涼しげに咲く姿が群落でご覧いただけます。年々株数も花数も増えて、現在は栽培されている群落では日本一、剣山などの自生地にも引けを取らない立派な群落となっています。小さな黄色いランプの様な花が一面に広がる様子はインスタグラムをはじめとするSNSでも良く映えます。



■キレンゲショウマ (ユキボシタ科)

キレンゲショウマは、ブナ帯の原生林内など、奥深い山でごくまれにしか見ることのできない極めて珍しい植物です。夏でも、うす暗く涼しい場所に生える多年草で、大峰山、剣山、石鎚山などに点々と分布しています。明治21年に発見され、同23年に新属、新種の植物として発表されました。太く、短い根茎があり、高さは80cmにもなります。当園に咲く「キレンゲショウマ」は、園内3ヶ所があり、約3,000株栽培しています。花は、今週より見頃を迎え、8月下旬頃までお楽しみいただける見込みです。



◆リリースに関するお問合せ先

六甲高山植物園 広報担当

TEL: 078-891-1247 / FAX: 078-891-0137 / 〒657-0101神戸市灘区六甲山町北六甲4512-150

◆営業概要

【入園料】大人(中学生~64歳)620円 / 小人(4歳~小学生)310円 / シニア(65歳以上)520円

【開園期間】3月18日(土)~11月23日(木・祝) 【休園日】9月7日(木)

【開園時間】10:00~17:00(16:30受付終了)